

78	建設局 都市整備局	三環状道路の整備促進（東京外かく環状道路）
事業概要	<p>東京外かく環状道路は、都心から約 15 kmの圏域を環状に連絡する延長約 85 kmの道路で、首都圏の交通や物流の根幹を成し、渋滞解消による国際競争力の強化や防災性の向上、地域の安全性確保などに資する極めて重要な道路である。</p> <p>このうち、東関東自動車道から関越道までの約 49 kmが開通している。関越道から東名高速までの約 16 kmは、平成 21 年 5 月に事業化され、国土交通省、東日本・中日本高速道路株式会社により整備が進められている。</p> <p>なお、東名高速から湾岸道路までについては、国土開発幹線自動車道建設法による予定路線に位置付けられているが、計画が具体化されていない状況である。</p>	
これまでの経過	<p>〔関越道～東名高速〕</p> <p>1966(昭和 41)年 7 月 都市計画決定</p> <p>2007(平成 19)年 4 月 都市計画変更決定</p> <p>2009(平成 21)年 4 月 「対応の方針」を公表</p> <p>2009(平成 21)年 5 月 「整備計画」の決定、事業化</p> <p>2010(平成 22)年 4 月 都は、「東京都建設局外環大泉事務所」を開設</p> <p>2010(平成 22)年 5 月 大泉 JCT の用地取得事務を都が受託</p> <p>2012(平成 24)年 4 月 整備計画の変更・事業許可に伴い、事業者が決定</p> <p>2012(平成 24)年 9 月 東名 JCT 予定地において着工式を開催、トンネル立坑工事に着手</p> <p>2014(平成 26)年 3 月 大深度地下使用認可と都市計画事業承認・認可</p> <p>2015(平成 27)年 3 月 都市計画変更（地中拡幅部）</p> <p>2015(平成 27)年 6 月 都市計画事業変更の承認・認可（地中拡幅部）</p> <p>2017(平成 29)年 2 月 東名 JCT においてシールドマシン発進式を開催</p> <p>2017(平成 29)年 4 月 青梅街道 IC の用地取得事務を都が受託</p> <p>2019(平成 31)年 1 月 大泉 JCT においてシールドマシン発進式を開催</p> <p>2021(令和 03)年 3 月 都市計画事業変更の承認・認可（施行期間延伸）</p> <p>〔東名高速～湾岸道路〕</p> <p>2016(平成 28)年 2 月 「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」を国土交通省が設立（構成：国土交通省、東京都、川崎市）</p> <p>2017(平成 29)年 7 月 第 2 回計画検討協議会開催</p> <p>2017(平成 29)年 12 月 第 3 回計画検討協議会開催</p> <p>2018(平成 30)年 5 月 第 4 回計画検討協議会開催</p> <p>2019(令和元)年 6 月 第 5 回計画検討協議会開催</p>	
現在の進行状況	<p>〔関越道～東名高速〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 2 月に東名 JCT、平成 31 年 1 月には大泉 JCT からシールドマシンが発進した。 都は、用地取得事務を受託している大泉 JCT 及び青梅街道 IC において、測量・用地取得を進めている。 令和 2 年 10 月に調布市で陥没・空洞事故が発生し、本線シールドトンネル工事が原因とされた。都は国など事業者に対して、住民の不安払拭に向け、緩んだ地盤の補修、補償等を含めた丁寧な説明や対応、再発防止対策を確実に実施することを求めている。 <p>〔東名高速～湾岸道路〕</p> <p>「計画検討協議会」における議論も踏まえ、全区間の計画の早期具体化に向けて国土交通省と調整を進めている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の見通し</p>	<p>[関越道～東名高速] 安全を最優先に工事を進めるとともに、コスト縮減に努め、早期に開通することを国など事業者に求めるとともに、都としても、受託している青梅街道 IC の用地取得を推進するなど、積極的に支援を行っていく。</p> <p>[東名高速～湾岸道路] 国や関係機関とともに、計画の早期具体化に向けて取り組んでいく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>建設局 三環状道路整備推進部 整備推進課 都市整備局 都市基盤部 街路計画課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-5172 03-5388-3279</p>